

2 生涯スポーツ推進事業

(1) 信州チャレンジスポーツ DAY

新たなスポーツイベントを開催する機運が高まり、県民の声を活かして2つのイベント（「県民スポーツフェスティバル」と「スポーツ天国」）を発展的に統合し、新たに「信州チャレンジスポーツ DAY」と名称を変え、平成26年度から開催することとなった。県教育委員会等の主催から関係団体で構成する実行委員会による主催とし、「子どもから大人まで県民が参加し・交流し、様々な形でスポーツに触れ、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現につながる機会とする」ことを目的として開催している。

第1回の参加者は、「県大会」に4,525人、総合型地域スポーツクラブなどの運営により県下22会場で開催した「地域版」には、3,222人、合わせて7,747人であった。第2回は、「県大会」5,004人、「地域版（20会場）」5,399人、合わせて10,403人の参加者が、第3回は、「県大会」に4,550人、「地域版（20会場）」に3,428人、合わせて7,978人の参加者が、第4回は、「県大会」3,979人、「地域版（25会場）」5,338人、合わせて9,317人の参加者があった。

第5回となった今回は、障がいのある人とない人（児童）が一つのチームを編成し、8人のリレーでタイムを競うユニバーサルリレーなどの新種目を加えて実施した。「県大会」に4,584人、「地域版（25会場）」に6,163人、合わせて10,747人の参加者があった。

信州チャレンジ スポーツDAY 2018	県大会 平成30年10月13日（土） 松本平広域公園（信州スカイパーク） ◇実施種目 <事前申込種目A> ・8種目（400m チャレンジリレー、ファミリー・ペアランニング2km、800mユニバーサルリレー、小学生・女子相撲、マレットゴルフ、グラウンド・ゴルフ、ゲートボール、ペタンク大会） <自由参加種目> ○スポーツ教室・体験教室 サッカー、ブラインドサッカー、バスケットボール、バレーボール、車椅子バスケットボール、スラックライン、ラート、テニス ○誰もが楽しめるスポーツ体験 マレットゴルフ、3B体操、ポッチャ、チャレンジ・ザ・ゲーム等 ○健康パビリオン ACEプロジェクト健康づくり体験 ○おもしろ自転車、セグウェイ乗車、国体種目体験 など <観戦イベント> ・車椅子バスケットボール交流試合、スラックライン、ラート、なぎなた	地域版 平成30年 4月28日（土）～ 平成31年 1月20日（日） 会場 県下4地区の25会場 ◇実施内容 ・あたま・からだ健幸フェア ・ニュースポーツフェスティバル ・オリンピックとの交流イベント ・マレットゴルフ交流大会 ・スポーツレクリエーション祭 ・フラッグフットボール ・トレイルランニング ・障がい者水泳フェスティバル ・ゆるサッカーフェスティバル ・ヨガマルシェ ・ミニ運動会 ・親子・jy スキルアップチャレンジ ・キッズスポーツチャレンジ ・ファミリースポーツレストラン ・ラージボール卓球交流会 ・スポーツフェスティバル ・親子バドミントン交流大会 ・ミニ駅伝 ・バスケットボール交流会 ・ヘルスバレーボール ・スポレック講習会 など
----------------------------	---	--

(2) 地域スポーツ拠点マルチ化事業

地域におけるスポーツ活動の拠点として「総合型地域スポーツクラブ」が活動を展開している。しかし、スポーツ無関心層の掘り起こしが進まない等により会員数の伸びが近年鈍化している。

そこで、より気軽にスポーツに参加できる機会を提供することにより、スポーツに関心を寄せるきっかけを増やす。具体的には、公民館、文化施設、商店街のコミュニティスペース等において従来から行われている生涯学習・文化・地域活動等に加えて地域スポーツ活動を行う取組を支援し、総合型地域スポーツクラブを核としたスポーツ拠点のマルチ化を図る。